



Sustainable Community Center Japan

NPO

New Public Organization
欲しいものは自分達で創る

2022 年度 活 動 報 告 書

2022 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31 日

2023 年 2 月 17 日

特定非営利活動法人
日本サステイナブル・コミュニティ・センター
<http://www.sccj.com/>

目次

はじめに 「2022 年度の報告と今後の抱負」

I センター事業活動実績

1. ユビキタス地域健康・医療・福祉情報ネットワーク事業「どこカル ネット」
 - 1-1. どこカル ネットの活動概要
 - 1-2. どこカル ネットのサービス概要
 - 1-3. どこカル ネットの各種活動実績
 - 1-4. どこカル ネット運営体制
2. 公衆無線インターネット事業「みあこネット方式」普及支援事業
 - 2-1. みあこネット方式普及支援事業の事業概要
 - 2-2. みあこネット方式普及支援事業の各種活動実績
 - 2-3. みあこネット方式普及支援事業の運営体制
3. 暮らしの食と農を身近に、こころ豊かな社会の創造事業「アグリライフ」
 - 3-1. アグリライフの活動概要
 - 3-2. アグリライフの各種活動実績
 - 2-3. アグリライフの運営体制
4. 研究会事業（産官民学の活発な人材交流）
 - 4-1. 京都研究会
5. 広報・マーケティング
 - 5-1. 各種メーリングリスト運営
 - 5-2. Web サイト運営
6. 会員について

II センター運営に関する活動

1. 総会開催
2. 2022 年度 SCCJ 理事会開催日
3. 事務局体制
4. 理事、監事、顧問

はじめに 「2022 年度の報告と今後の抱負」

特定非営利活動法人日本サスティナブル・コミュニティ・センター
2022 年度総会開催にあたって

2023 年を迎えましたがみなさまにはいかがお過ごしでしょうか。

この 3 年間、新型コロナウイルス感染症の流行に翻弄される日々が続きました。加えて、昨年 2 月にはロシアによるウクライナ侵攻が始まり、この戦争の惨禍はもとより、その直接間接の影響は私たちの日常にも及んでいます。

そうした中でも、特定非営利活動法人日本サスティナブル・コミュニティ・センター（略称 SCCJ）は、着実に活動を続けてまいりました。日常的な活動は、どこかネットを中心にして、着実に広がってきています。ポケットカルテを活用した様々な新たな試みが進み始めていますし、ポケットカルテそれ自体を積極的に取り入れようという動きが全国にさらに大きく広がりつつあります。これらの実績を踏まえた地域の情報化、ICT を活用したサービスの研究開発と社会実装が進みつつあります。

恒例となりました京都研究会も今年は第 24 回となりました。今回の京都研究会 2022-2023 は 2023 年 1 月 20 日にオンラインで開催されました。そのテーマは「変化する世界情勢と ICT、これからの持続可能な地域社会」でした。残念ながらオンラインでしたが、また例年よりも小ぶりの研究会になりましたが、ウクライナ情勢を踏まえた欧州の動向とその日本への影響、翻って日本国内での少子化や高齢化が地域社会や日常生活にどのような影響を与えているのか、そこで欠かすことができないエッセンシャルワーカーの労働条件をどのように改善できるのか、そして私たちが提案してきた ICT による持続可能な地域づくりはこれらの問題をどのように解決していくことができるのか、未来に向けてのビジョンを開くべく議論を深めることができました。

SCCJ はこのような激動の時代にあって、ICT を活用して持続可能な地域を未来に開く活動を着実に続けていきたいと思っています。幸いにも多くの方々のご支援もあって、財政的にも健全に運営ができている状況ですが、そこに安んじて留まることなく地域の未来を切り開くという本来のミッションを追求し続けたいと考えています。これからも幅広く多くの皆様のご支援ご協力のもとに活動を広げていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

2023 年 2 月吉日

特定非営利活動法人
日本サスティナブル・コミュニティ・センター
代表理事 新 川 達 郎

I センター事業活動実績

1. ユビキタス地域健康・医療・福祉情報ネットワーク事業「どこカル. ネット」

<http://www.dokokaru.net>

1-1. どこカル. ネットの活動概要

どこカル. ネットは、近年、少しずつ普及しはじめた医療機関毎の電子カルテシステムをインターネット上で安心・安全に相互利用するための仕組みをつくることで、いつでも、だれでも、どこでも、安心・安全で質の高い医療を受けることが出来るような（すなわち、どこでもカルテが見ることが出来るような）地域の情報化を住民の手で実現しようというプロジェクトとして、2004 年 5 月に開始。

「どこカル. ネット」プロジェクト開始以前に、北岡顧問が支援してきた 3 つの二次医療圏を経て、50 の二次医療圏の地域中核病院に対して標準化型電子カルテの導入支援や情報化支援を行ってきた。

また、2008 年 10 月より、個人の健康履歴（検診データ管理、紹介状管理、入退院サマリー）を、インターネットを介して携帯端末や PC を用い、個人主体で管理可能なサービス「ポケットカルテ」の本サービスを開始している。

1-2. どこカル. ネットのサービス概要

■特徴：いつでも、どこでも、だれでも、安心安全で質の高い医療を受ける事が出来る社会的な仕組み作り

【1】 いつでも：ASP 型電子カルテをツールとして、「かかりつけ医（診療所）」と「病院」で 24 時間体制の連携を目指し、診療情報の共有（一地域一患者一電子カルテ）を行う。（注：ASP 型電子カルテとは、インターネットエクスプローラーなど、ホームページ閲覧ソフトのみで利用可能な電子カルテのことである。）

【2】 どこでも＝ユビキタス：「みあこネット方式普及支援事業」プロジェクトとの協業により、医療機関内だけでなく、患者＝住民の自宅や外出先での急病で初診した医療機関、救急現場に居合わせた医療関係者に過去の診療情報を共有やその情報に基づく適切な医療が可能。

【3】 だれでも：IT コンソーシアム京都（京都府・京都市・京都商工会議所と有識者で構成）医療情報化部会との協業で進められている「共通診察券（無償）」を持つ事で、適切な医療を受けることが可能。

【4】 安心安全：「みあこネット方式普及支援事業」の高度なセキュリティを持った公衆無線インターネット用アクセスルータ（無線基地局）を利用。また、医療従事者や患者＝住民の識別や認証には、「共通診察券」と「指静脈紋認証（生体認証のひとつ）」を組み合わせている為、世界最高レベルの環境を提供している。さらに、診療情報の共有により、薬アレルギーや現在内服中の薬との飲み合わせのチェック等がその場で可能。→医療過誤防止へ。

【5】 質の高い健康・医療・福祉：共有されている診療情報の内、本人のご承諾が得られた情報については匿名化し、「その地域の住民特有の」健康・医療・福祉情報として統計解析し、「その地域の住民に最適な」健康・医療・福祉環境を探索する。また、解析結果を基に、一人一人の住民に最適な健康・医療・福祉をテラーメイドで提供。

1-3. どこカル. ネットの各種活動実績

2022 年度は以下の活動を実施した。

■「どこカル. ネット」事業会議

週 1 回、北岡顧問、スタッフ一同で定例会議を実施。2022 年度においては計 24 回の会議を開催した。

■ 医療機関・学術団体向けの医療情報システム・医療関連システム導入・構築・更新に対するコンサルテーション

医療機関側に不足しがちな IT スキルを補い、助言をし、医療機関と同じ立場で導入ベンダと交渉等を行う。また、医療情報を適切に扱う体制作りや、問題解決に対する助言、支援を実施。2016 年度終了迄に定期的な支援を行った医療機関は 50 病院。2017 年度以降は休止している。

■ 「ポケットカルテ®」～個人向け健康情報管理サービス～

1995 年 1 月 17 日、我々は阪神・淡路大震災を経験した。その復興の中で、医療機関の壊滅や火災による紙カルテの消失や焼失を経験し、「自らのデータは自ら守る」ことの重要性和、大規模災害時などにそれを支えるためのセーフティネットの必要性を痛感した。この経験から、「患者中心の医療」を実現すべく構築したものが個人向け健康・医療・福祉・介護情報履歴管理サービス「ポケットカルテ®」(※)である。

個々の住民が自らに最適化された医療を享受するためには、当該個人の詳細な病歴や成長発達記録などが必要となるが、個々の住民がその情報を保持していることは極めて稀で、医療機関の診療記録のみが頼りとなっている。この医療機関ごとに管理されている住民の医療履歴を自ら時系列に集約管理できる仕組みづくりとして、演者が考案・開発し、特定非営利活動法人日本サスティナブル・コミュニティ・センター（京都府京都市、以下、NPO 法人 SCCJ）が運営主体となって、「ポケットカルテ®」を広く日本全国に無償でサービス提供している。

「ポケットカルテ®」はクラウド型 PHR(Personal Health Records)あるいは PLR(Personal Life-log Records)サービス、すなわち、利用者自身の生涯にわたる健康・医療・福祉・介護履歴情報を預けることのできる「情報銀行」であり、携帯電話やスマートフォンあるいはインターネットに接続可能な PC があれば全国何処でも無料で利用可能である。

2018 年 6 月の閣議決定にて「経済財政運営と改革の基本方針（いわゆる骨太の方針 2018）」を閣議決定した。この中で、「Society 5.0」の実現に向けて今後取り組む重点分野と変革の牽引力となる「フラッグシップ・プロジェクト」として、「次世代ヘルスケア・システムの構築プロジェクト」が盛り込まれ、

「PHR について、2020 年度より、マイナポータル（個人向け行政ポータルサイト）を通じて本人等へのデータの本格的な提供を目指す。」と明記された。

また、「経済財政と運営の基本方針 2019～「令和」新時代：「Society 5.0」への挑戦～」(2019 年 6 月 21 日閣議決定)においては、「生まれてから学校、職場など生涯にわたる健診・検診情報の予防等への分析・活用を進めるため、マイナポータルを活用する PHR との関係も含めて対応を整理し、健診・検診情報を 2022 年度を目途に標準化された形でデジタル化し蓄積する方策をも含め、2020 年夏までに工程化する」こととされており、今後は他の健康・医療等情報等も含めた PHR の活用も期待されている。これを受けて、我が国の PHR についての目的や方向性を明確にした上で、自身の健康に関する情報について電子データ等の形での円滑な提供や適切な管理、効果的な利活用が可能となる環境を整備していくため、関係省庁や省内関係部局との連携の下、2019 年 9 月 11 日から「国民の健康づくりに向けた PHR の推進に関する検討会」が始まり、その実作業班として 2020 年 1 月 15 日から「民間事業者による PHR の適正かつ効果的な利活用に関する作業班」が活動を開始し、当法人顧問である北岡有喜博士も有識者として参加。また、2020 年 10 月より総務省主管の「5G 時代における遠隔医療等の在り方に関する調査研究」検討会と WG が接地され、検討会委員および WG 座長として北岡有喜博士が参加している。

(※)「ポケットカルテ®」 当法人顧問である社会医療法人 岡本病院（財団）理事／京都岡本記念病院 副院長 北岡有喜博士が企画・考案し、当法人がサービスを提供している個人向け健康医療福祉履歴情報管理サービス (PHR : Personal Health Record) で、利用者は、専用のサイト「ポケットカルテ®」に会員登録し、携帯電話・PHS、スマートフォン、パソコンなどの情報端末から自身の健康・医療・福祉の情報を管理することができる。

2008 年秋からサービスの提供を開始し、様々なメディアで紹介され、正式サービス開始から 4 ヶ月間（2009 年 1 月時点）で、10,000 ユーザーを突破した。サービス開始当初に対応していた携帯電話・PHS に加え、普及が目覚ましいスマートフォンやタブレット端末にも対応し、より多くのユーザーが快適に利用できるようになり、現在（2022 年 12 月末時点）65,706 人のユーザーが実利用している。

■ 令和 4 年度「地域共通診察券（すこやか安心カード）運営協議会」ならびに「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会の実施

地域共通診察券事業の進捗状況の共有と、今後の事業展開等についてのディスカッションを行うため、毎月第 3 木曜に運営協議会を実施した。また、同日同会場にて、地域共通診察券事業に関連するテーマにおけ

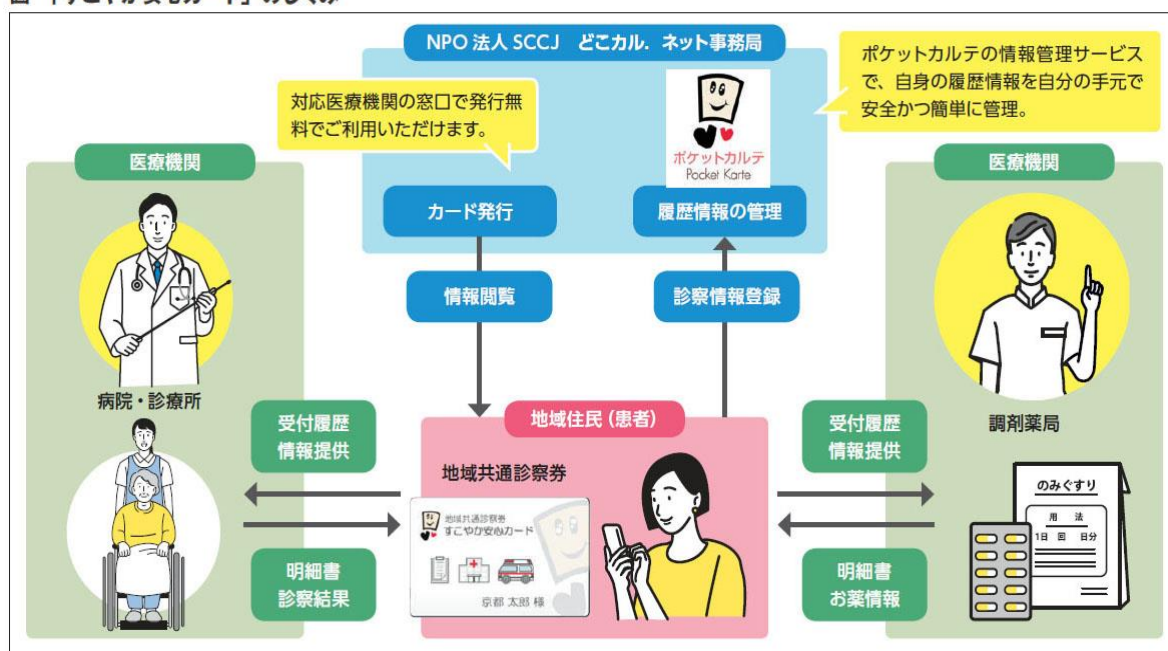
る「ポケットカルテ®」「地域共通診察券」合同勉強会を実施した

＜地域共通診察券（すこやか安心カード）運営協議会 開催日＞

令和4年2月18日	第114回「地域共通診察券運営協議会」 第105回「ポケットカルテ®」「地域共通診察券」合同勉強会
令和4年4月22日	第106回「ポケットカルテ®」「地域共通診察券」合同勉強会 第115回「地域共通診察券運営協議会」
令和4年6月16日	第107回「ポケットカルテ®」「地域共通診察券」合同勉強会 第116回「地域共通診察券運営協議会」
令和4年8月18日	第108回「ポケットカルテ®」「地域共通診察券」合同勉強会 第117回「地域共通診察券運営協議会」
令和4年10月20日	第109回「ポケットカルテ®」「地域共通診察券」合同勉強会 第118回「地域共通診察券運営協議会」
令和4年12月8日	第110回「ポケットカルテ®」「地域共通診察券」合同勉強会 第119回「地域共通診察券運営協議会」

今後も、「ポケットカルテ®」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」を通して、医療の情報化、地域住民の健康増進への貢献、電子行政サービスの普及を推進し、さらに利用者の統計データの活用により新しいサービスを創造することを目指していく。

図 「すこやか安心カード」のしくみ



【月刊 J-LIS】2021 年 3 月号より引用

■ 「どこカル ネット」会員研修会

本プロジェクトの概要と現状、進捗状況等について情報共有すると共に、会員互の連携・親睦を図る機会として2ヶ月に一度開催。2022年度においては6回の研修会を開催した。

＜研修会開催日＞

- ・ 2022年1月14日（金） 第103回どこカル ネット会員研修会
- ・ 2022年3月11日（金） 第104回どこカル ネット会員研修会
- ・ 2022年5月13日（金） 第105回どこカル ネット会員研修会
- ・ 2022年7月21日（木） 第106回どこカル ネット会員研修会
- ・ 2022年9月16日（金） 第107回どこカル ネット会員研修会

- ・ 2022 年 11 月 18 日（金） 第 108 回どこカル．ネット会員研修会

■ 2022 年の主なイベント一覧

- ・ 01月05 日：事前説明【J-LIS】第 33 回経営審議委員会開催（オンライン）
- ・ 01月05 日：「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会開催（オンライン）
- ・ 01月07 日：【J-LIS】第 33 回経営審議委員会開催（オンライン）
- ・ 01月07 日：【総務省】香川大学病院支援 Web 会議開催
- ・ 01月12 日：【日本看護協会】第 2 回労働と看護の質データベース事業の推進に関する検討委員会（オンライン）
- ・ 01月12 日：「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会開催（オンライン）
- ・ 01月12 日：安芸太田病院定例会ミーティング（オンライン）
- ・ 01月19 日：「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会開催（オンライン）
- ・ 01月26 日：安芸太田病院定例会ミーティング（オンライン）
- ・ 01月24 日：【総務省】【医師対医師（D to D）の遠隔医療の取組状況等にかかる調査研究】第 2 回検討委員会開催（オンライン）
- ・ 02月02 日：「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会開催（オンライン）
- ・ 02月07 日：【総務省】香川大学病院支援 Web 会議予定（オンライン）
- ・ 02月09 日：「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会開催（オンライン）
- ・ 02月09 日：安芸太田病院定例会ミーティング（オンライン）
- ・ 02月16 日：【日本看護協会】第 3 回労働と看護の質データベース事業の推進に関する検討委員会開催（オンライン）
- ・ 02月16 日：「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会開催（オンライン）
- ・ 02月17 日：第 114 回（2021 年度第 6 回）総務省「地域 ICT 利活用広域連携事業」地域共通診察券運営協議会開催（オンライン）
- ・ 02月24 日：【安芸太田病院定例会ミーティング（オンライン）
- ・ 02月28 日：【総務省】香川大学病院支援 Web 会議（オンライン）
- ・ 03月02 日：「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会開催（オンライン）
- ・ 03月03 日：【J-LIS】第 34 回経営審議委員会開催（オンライン）
- ・ 03月10 日：【総務省】【医師対医師（D to D）の遠隔医療の取組状況等にかかる調査研究】第 2 回検討委員会開催（オンライン）
- ・ 03月11 日：どこカル．ネット第 105 回会員研修会開催（オンライン）
- ・ 03月16 日：「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会開催（オンライン）
- ・ 03月17 日：【IT コンソーシアム京都】委員会・総会開催
- ・ 03月23 日：「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会開催（オンライン）
- ・ 03月23 日：【安芸太田病院】ポケットカルテ定例会議開催（オンライン）
- ・ 03月25 日：【健診等情報利活用ワーキンググループ 民間利活用作業班】第7 回作業班開催（オンライン）
- ・ 03月30 日：「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会
- ・ 04月07 日：【安芸太田病院】ポケットカルテ定例会議開催（オンライン）
- ・ 04月07 日：「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会開催（オンライン）
- ・ 04月13 日：【近畿情報通信協議会】第 31 回定期総会・記念講演会開催（オンライン）
- ・ 04月20 日：【安芸太田病院】ポケットカルテ定例会議開催予定（オンライン）
- ・ 04月22 日：第 115 回（2022 年度第 1 回）総務省「地域 ICT 利活用広域連携事業」地域共通診察券運営協議会開催（京都医療センター）
- ・ 04月27 日：安芸太田病院定例会ミーティング（オンライン）
- ・ 04月27 日：「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会開催（オンライン）

ンライン)

- ・ 05月11 日:【安芸太田病院】ポケットカルテ定例会議開催(オンライン)
- ・ 05月11 日:「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 05月13 日: どこカル. ネット第 105 回会員研修会開催(オンライン)
- ・ 05月18 日:「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 05月25 日:「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 05月25 日:【安芸太田病院】ポケットカルテ定例会議開催(オンライン)
- ・ 06月01 日:「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 06月08 日:「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 06月09 日:【安芸太田病院】ポケットカルテ定例会議開催(オンライン)
- ・ 06月15 日:「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 06月16 日:第 116 回(2022 年度第 2 回)総務省「地域 ICT 利活用広域連携事業」地域共通診察券運営協議会開催(京都医療センター)
- ・ 06月22 日:【J-LIS】第 36 回経営審議委員会開催(オンライン)
- ・ 06月22 日:【安芸太田病院】ポケットカルテ定例会議開催(オンライン)
- ・ 06月23 日:「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 06月23 日:【中東遠総合医療センター】WEB 会議開催
- ・ 06月24 日:【自治体病院共済会】医療 DX セミナー講演(オンライン)
- ・ 06月29 日:「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 07月06 日:【安芸太田病院】ポケットカルテ定例会議開催(オンライン)
- ・ 07月06 日:「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 07月08 日:【IT コンソーシアム京都】令和4 年総会開催(京都リサーチパーク1 号館+オンライン)
- ・ 07月13 日:「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 07月20 日:【安芸太田病院】ポケットカルテ定例会議開催(オンライン)
- ・ 07月21 日:【どこカル. ネット】第 106 回会員研修会(オンライン)
- ・ 07月27 日:「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 07月27 日:【安芸太田病院】ポケットカルテ定例会議開催(オンライン)
- ・ 08月03 日:【安芸太田病院】ポケットカルテ定例会議開催(オンライン)
- ・ 08月03 日:「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 08月10 日:「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 08月17 日:「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 08月18 日:【第 108 回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会、第 117 回地域共通診察券運営協議会】開催(オンライン)
- ・ 08月24 日:【安芸太田病院】ポケットカルテ定例会議開催(オンライン)
- ・ 08月24 日:「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 08月29 日:【理化学研究所】情報統合本部 MTG 開催(オンライン)
- ・ 08月30 日:【静岡県中東遠総合医療センター】打ち合わせ(オンライン)
- ・ 08月31 日:【安芸太田病院】ポケットカルテ定例会議開催(オンライン)
- ・ 08月31 日:「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)

- ・ 09月07 日：「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 09月09 日：【久御山町】キックオフ MTG(オフライン)
- ・ 09月14 日：【安芸太田病院】ポケットカルテ定例会議開催(オンライン)
- ・ 09月14 日：「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 09月16 日：【どこカル. ネット】第 107 回会員研修会開催(オンライン)
- ・ 09月21 日：「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 09月28 日：「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 09月28 日：【安芸太田病院】ポケットカルテ定例会議開催(オンライン)
- ・ 10月05 日：「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 10月12 日：「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 10月12 日：【安芸太田病院】ポケットカルテ定例会議開催(オンライン)
- ・ 10月19 日：「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 10月20 日：【第 109 回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会、第 118 回地域共通診察券運営協議会】開催(オンライン)
- ・ 10月26 日：【安芸太田病院】ポケットカルテ定例会議開催(オンライン)
- ・ 10月26 日：「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 11月09 日：【安芸太田病院】ポケットカルテ定例会議開催(オンライン)
- ・ 11月09 日：「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 11月11 日：【理化学研究所】情報統合本部 MTG 開催(オンライン)
- ・ 11月16 日：「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 11月18 日：【どこカル. ネット】第 108 回会員研修会開催(オンライン)
- ・ 11月29 日：総務省【地域情報化アドバイザー全体会議】開催(オンライン)
- ・ 11月30 日：「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 12月06 日：【令和 4 年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業】令和 4 年度 第2 回 班会議開催(オンライン)
- ・ 12月07 日：「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 12月07 日：【安芸太田病院】ポケットカルテ定例会議開催(オンライン)
- ・ 12月08 日：【第 110 回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会、第 119 回地域共通診察券運営協議会】開催予定(オンライン)
- ・ 12月21 日：【安芸太田病院】ポケットカルテ定例会議開催予定(オンライン)
- ・ 12月21 日：「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)
- ・ 12月28 日：「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会開催(オンライン)

1-4. どこカル. ネット運営体制

■ 運営体制 <http://www.dokokaru.net/modules/tinyd0/index.php?id=7>

【責任者体制】

役職	氏名	所属
----	----	----

事業統括責任者	北岡 有喜	社会医療法人 岡本病院（財団）理事／京都岡本記念病院 副院長
事業運営責任者	事業統括責任者兼務	
総括技術責任者	事業統括責任者兼務	
技術運用責任者 （情報通信技術担当）	小森 由宗	NPO 法人日本サステナブル・コミュニティ・センター
財務責任者	事業統括責任者兼務	

【担当顧問】

氏名	所属
北岡 有喜	社会医療法人 岡本病院（財団）理事／京都岡本記念病院 副院長
國領 二郎	慶應義塾大学総合政策学部教授、慶應義塾常任理事

【企業/企業会員】

種別	企業名	企業名
企業会員	アイテック阪急阪神株式会社	株式会社アドバンス・メディア
	株式会社医用工学研究所	株式会社インスパイア
	エニシア株式会社	株式会社常広シティーケーブル
	京都電測株式会社	株式会社KCN京都
	KDDI株式会社	サトーヘルスケア株式会社
	株式会社スカイコム	スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社
	一般財団法人聖マリアンナ会	泉工医科工業株式会社
	株式会社T-ICU	ティック株式会社
	となみ衛星通信テレビ株式会社	株式会社ナイス
	日本デジタル配信株式会社	株式会社ハートネットワーク
	富士通株式会社	三井住友信託銀行株式会社
	株式会社ミライテクノ	メディカル・データ・ビジョン株式会社
	リコージャパン株式会社	

他1社、計26社（50音順、2022年12月末現在）

2. 公衆無線インターネット事業「みあこネット方式」普及支援事業

<http://www.miako.net/>

2-1. みあこネット方式普及支援事業の事業概要

みあこネットとは、市民の手で自分の住んでいる地域を情報化しようというプロジェクトで、当法人の呼びかけにより2002年5月から広がり、市民有志の負担でアクセスポイントを設置・運用する活動である。企業内、家庭内におけるネットワークへ、安心・安全に基地局を運営し、また利用者にとっても簡単に公衆でインターネット接続を利用できる方法として、VPNを利用した「みあこネット方式」を提唱し、同方式の普及支援活動を実施してきた。

プロジェクト開始から2005年3月末までの3年間は、SCGJを運営母体とする実証実験を実施。2005年4月～2008年3月末は、京都の地域プロバイダ「京都アイネット」での商用運用の採用があり、地域内情報バリアフリーの一役を担った。同社は2008年3月をもって、「みあこネット方式」を用いた商用運用を終了している。

2008年4月からは、「みあこネット方式」に準拠したサーバをパッケージ化し、京都大学や京都医療センター臨床研究センター独自の運用を継続して多くの学生、教職員や従事者に対し運用された。その後、同方式の無線LANサービスは2016年2月末をもって終了した。

プロジェクト開始から1年を経た当時、アクセスポイントは京都を中心に全国230か所、利用ユーザ数は4,600人に達した。まだ公衆無線インターネットやスマートフォンの登場がまだなかった環境（iPhone3Gは2008年発売）で、インターネット通信業界に提示したこの「市民の力」の影響力は大きく、日本における公衆無

線インターネットインフラ構築の先駆けであり、インターネット通信のセキュリティの重要性が広く認知されたことが、当プロジェクトの果たした役割であると考えます。

「みあこネット」の実証実験で最初に用いられていた無線プロトコルである MISP (MIS Protocol) は、モバイルブロードバンド協会での標準化 (2004 年) を経て、真野浩氏 (現・コーデンテクノインフォ(株)) らにより IEEE に標準化提案され、“Fast Initial Link Setup” という名称で議論されていたが、2016 年 12 月に、IEEE802.11ai 規格として正式に承認された。

2-2. みあこネット方式普及支援事業の各種活動実績

本年度の活動実績なし

2-3. みあこネット方式普及支援事業の運営体制

■ 運営体制 <http://www.miako.net/about/organization.shtml>

【みあこネット責任者】

役職	氏名	所属
事業統括責任者	北岡 有喜	社会医療法人 岡本病院 (財団) 理事／京都岡本記念病院 副院長

3. 暮らしの食と農を身近に、こころ豊かな社会の創造事業「アグリライフ」

<http://www.agri-life.net/>

3-1. アグリライフの活動概要

ICT を活かした安心・安全な食と農のある暮らしの根ざす地域社会作り、都市と農村の持続可能な交流と産業モデル作りを行う。なお、アグリライフは 2005 年より実施している「ここちネット」の掲げる理念「障害の有無や、性別、年齢にかかわらず自律性、自発性、創造力を発揮できる安心・安全な社会モデル作り」はそのまま踏襲し、2009 年 6 月 1 日付けで発展的改称した事業である。アグリライフの事業は、上記理念を掲げる事業を行う主催事業と、他団体・企業に対する企画立案、各種支援事業に分けられる。アグリライフは、2011 年 1 月末をもってすべての事業を終了し、現在は新たなプロジェクトを休止している。

3-2. アグリライフの各種活動実績

本年度の活動実績なし。

3-3. アグリライフ運営体制

■ 運営体制

【責任者体制】

役職	氏名	所属
事業統括責任者	隅岡 敦史	NPO 法人日本サステナブル・コミュニティ・センター理事

【担当顧問】

氏名	所属
北岡 有喜	社会医療法人 岡本病院 (財団) 理事／京都岡本記念病院 副院長

4. 研究会事業 (産官民学の活発な人材交流)

4-1. 京都研究会

毎年恒例となっている研究会事業の京都研究会について、2022-2023 年度は 2023 年 1 月 20 日 (金) に zoom 開催を予定している。内容は以下の通り。

■ 第 24 回京都研究会 2022-2023

<http://www.sccj.com/kk/2022-2023/>

「変化する世界情勢と ICT、これからの持続可能な地域社会」

【内容】

- 13:00～ 受付開始
- 13:00～13:05 開会の挨拶：新川 達郎（同志社大学名誉教授/
NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター代表理事）
- 13:05～13:50 「EU の安全保障～ウクライナ戦争事態に対応して」
講演：新川 達郎（同志社大学名誉教授/
NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター代表理事））、
講演：原田 徹 先生（仏教大学社会学部公共政策学科講師）
- 13:50～14:20 「少子化の波 小学校の統廃合と地域を持続させる鍵」
講演：隅岡 敦史（NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター理事）
- 14:20～15:10 「持続可能な地域を支援するSNSプラットフォーム「xLife」のご紹介」
講演：竹原 司（インフォグリーン株式会社 代表取締役社長/NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター副代表理事）
- 15:10～15:25 休憩
- 15:25～16:15 「いよいよ始まる「医師の働き方改革」：DX 活用の処方箋」
講演：北岡 有喜（社会医療法人 岡本病院（財団）理事／ 京都岡本記念病院 副院長/
NPO 法人日本サステナブル・コミュニティ・センター顧問
- 16:15～16:50 【総合討論会】『変化する世界情勢と ICT、これからの持続可能な地域社会』
コーディネータ：新川 達郎（同志社大学名誉教授/NPO 法人日本サステナブル・コミュニティ・センター代表理事）
- 16:50～17:00 閉会の挨拶：竹原 司（インフォグリーン株式会社 代表取締役社長/NPO 法人日本サステナブル・コミュニティ・センター副代表理事）

【参加費】：無料

【運営体制】

主催：特定非営利活動法人日本サステナブル・コミュニティ・センター

【定員】30 名

5. 広報・マーケティング

Web サイト、プレスリリース、各種メーリングリストでの広報・マーケティングを行った。

5-1. 各種メーリングリスト運営

SCCJ 関連で、テーマ、目的別のメーリングリストが 10 数本あり、ネット上で協働作業や情報交換を行っている。その中でも一般情報交換用メーリングリスト「aibousan」は、誰でも入れる双方向型のメーリングリストで、設立当初の 1999 年の 190 名から、2022 年 12 月末に登録者は 520 名である。

5-2. Web サイト運営

2022 年現在運営しているサイトは以下の通り。

- ・ SCCJ <http://www.sccj.com/>
- ・「みあこネット」方式普及支援事業 <http://www.miako.net/>
- ・どこカル ネット <http://www.dokokaru.net>
- ・ポケットカルテ <http://pocketkarte.net/>
- ・アグリライフ <http://www.agri-life.net/>

6. 会員について （2022 年 12 月末現在）

<SCCJ 正会員>

会員種別	継続	新規	計
一般	22	0	22
学生	0	0	0
合計	22	0	22

<どこカル ネット企業・団体会員>25 社

詳細は「どこカル ネット」項目を参照のこと。

II センター運営に関する活動

1. 総会

特定非営利活動法人日本サステナブル・コミュニティ・センター 総会

日時： 2022年2月18日（金） 13:00-13:30

会場： ZOOM 開催

2021年度活動報告、収支報告、2022年度事業について了承された。

2. 2022年度 SCCJ 理事会開催日

下記の日程に於いて、理事、事務局スタッフによる定期理事会を開催した。

- ・ 2022年1月14日
- ・ 2022年2月18日
- ・ 2022年3月25日
- ・ 2022年4月15日
- ・ 2022年5月20日
- ・ 2022年6月17日
- ・ 2022年7月14日
- ・ 2022年8月18日
- ・ 2022年9月15日
- ・ 2022年10月20日
- ・ 2022年11月18日
- ・ 2022年12月8日

3. 事務局体制 （2022年12月末現在）

（1）職員

常勤：1名

どこカル ネット事業運営責任者：事業統括責任者兼務

プロジェクト・コーディネータ：小川

どこカル ネットボランティア：5名

4. 理事、監事、顧問 （2022年12月末現在）

（50音順）

代表理事	新川 達郎	同志社大学名誉教授
理事	竹原 司 （副代表理事）	インフォグリーン株式会社 代表取締役社長
	隅岡 敦史	静原ミレットファーム
監事	土井 充	公認会計士 土井充事務所
顧問	跡田 直澄	京都先端科学大学 経済経営学部 特任教授
	北岡 有喜	社会医療法人 岡本病院（財団）理事／ 京都岡本記念病院 副院長
	國領 二郎	慶應義塾大学総合政策学部教授、慶應義塾常任理事
	辻 正次	学校法人八代学院神戸国際大学学長
	三木 秀夫	弁護士・大阪 NPO センター理事

以上